

## 次世代ネットワークに向けた統合 IP 網の監視技術の開発について

株式会社インテック・ネットコア(本社: 東京都江東区新砂、代表取締役社長: 荒野 高志)と株式会社 KDDI 研究所(本社: 埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長: 秋葉 重幸)は、次世代ネットワーク時代の統合 IP 網で提供されるサービスを監視する技術を共同で開発しました。本技術は、統合 IP 網を構成する MPLS(Multi-Protocol Label Switching)ネットワークにおいて、バックボーンからその上位サービスまでを統合的に監視し、複雑に構成される統合 IP 網において、障害時の原因追求と影響範囲の特定を容易にします。

次世代ネットワーク時代の統合 IP 網では、MPLS と呼ばれる技術を用いて、多種多様のサービスを統合的に提供するマルチサービスネットワークの仕組みを採用しています。統合 IP 網では、多数のサービスを共通のバックボーンで運用することにより設備効率と運用効率の向上が可能になりますが、一方で、統合 IP 網上で障害が発生した場合に、その原因追求と影響範囲の特定が非常に困難である、という課題が指摘されていました。

本課題に対し、インテック・ネットコアと KDDI 研究所は共同で統合 IP 網の監視技術について研究し、MPLS を用いたバックボーンにおける障害と、IP-VPN などの上位サービスでの通信断を独自のアルゴリズムにより関係付けることで、ネットワークの障害がユーザに与える影響を把握できるシステムを開発いたしました。

本システムの開発により、次世代 IP ネットワーク時代の統合 IP 網の運用管理を行う際に、以下のような機能を提供し、ユーザ障害を的確に把握し、迅速な障害対応を可能にします。

1. 多数のサービス、多数のユーザを収容する統合 IP 網において、ネットワークの障害が与える影響範囲を視覚的かつリアルタイムに把握することができる。
2. ユーザ通信に障害があった場合に、その障害情報をもとにネットワーク上での障害の原因を検出することができる。

今後、インテック・ネットコアは、統合 IP 網での運用管理サービスの高信頼化、及びサービス品質の向上のため、システムを拡張して参ります。

以上

株式会社インテック・ネットコア

企画営業部

TEL 03-5669-5069

[info@inetcore.com](mailto:info@inetcore.com)

株式会社インテック・ネットコア

本社所在地：東京都江東区新砂 1-3-3

URL：<http://www.inetcore.com/>

次世代インターネットの基盤技術を研究・開発を通じて、新しいインターネット時代の先導役を目指すべく、2002年5月29日に設立されました。

次世代ネットワークの基盤技術の調査・研究・開発、コンサルタント業務を主な事業内容とし、インターネットに関わる業界活動を通じた人材インキュベーションにも積極的に取り組んでいます。インテック・ネットコアは、国内外の組織と連携し、IPv6による次世代インターネットを新しい社会基盤として確立するため活動しており、今後のインターネットビジネスを牽引していきます。